

外国人・地域・災害

～外国人の視点から考える災害と支援～



J.F.モリス氏 (宮城学院女子大学教授)

オーストラリア国立大学で日本語を専攻した後、1974年から東北大学に留学し、1984年同大学文学研究科博士後期課程を修了、1988年に文学博士(日本史)を修得。1984年から88年の間、アメリカの大学で日本語・日本史を教えた後、1989年から宮城学院女子短期大学(2000年に大学に改組)で教鞭をとる。専門は日本近世史で、仙台藩の歴史について著書と論文は多数ある。

併せて、1991年から宮城県における外国人支援団体に参加し、2004年度から、一当事者として宮城県の多文化共生行政に委員として参加するようになる。2007年の宮城県多文化共生社会形成推進条例の制定と、2011年まで推進計画の制定に参加した。

2011年3月11日、自宅のある多賀城市で被災し、以後、臨床心理士の配偶者と二人三脚で被災地の住人として、多方面の支援に係るようになった。

その経験を、仙台国際交流協会と宮城県国際化協会と、『東日本大震災からの学び～大災害時、県、政令都市の地域国際化協会の協働と補完を再考する～』としてまとめた。

2011年3月11日。

この日は、日本に住む私達にとって、忘れられない日付となりました。

被災県の中でも最大の死者を出した宮城県。その宮城県には、当時約1万6千人の外国人が暮らしていました。

災害時、外国人は主に言葉の面などから「要支援者」とされていますが、本当にそうでしょうか。

日本に暮らして40余年になるモリス氏は、宮城県の多文化共生の第一人者とも呼ばれ、地域に密着した外国出身者です。

震災後の混乱の中も、宮城とともに歩み続け、その再生にも大きく尽力されているモリス氏をお招きし、ご自身の経験から災害における問題、支援、地域や行政がどう協働すべきなのかをお話いただきます。

佐賀商工ビル1F
研修室



2015年12月18日(金)

10am~12pm

入場無料

Admission Free

(公財)佐賀県国際交流協会
(SPIRA) 佐賀市白山2-1-12
佐賀商工ビル1階

TEL: 0952-25-7921

MAIL: motomura@spira.or.jp



佐賀県国際交流協会
S P I R A

外国人と地域と災害 ～外国人の視点から考える災害と支援～

セミナー 申込用紙

- お申込みは以下の項目を記入し、FAX・Eメールのいずれの方法で、開催日の一週間前までに、佐賀県国際交流協会までご提出ください。
- お預かりした個人情報とは今回のイベントのみに使用し、それ以外の目的に使用することはありません。
- セミナーの内容は調整の過程で変更する場合があります。御了承ください。



FAXでお申込みの際は、以下をご記入のうえ、送信ください。※ 本申込用紙は当協会HPよりダウンロード可

佐賀県国際交流協会 FAX : 0952-26-2055

フリガナ
名前： _____ このセミナーをどのようにしてお知りになりましたか？
チラシ フェイスブック 協会からのお知らせメール
ホームページ その他 ()

お住まいの市町村名： _____ 市 / 町

固定電話又は携帯番号： _____

パソコンメールアドレス： _____ @
又は携帯メールアドレス： _____ @

※ お願い：アドレスはブロック体で、見やすくはっきりご記入ください。

所 属 (以下からお選びください)

- 行政関係者 (_____ 市 / 町 部署名： _____)
- 民間国際交流団体 (団体名： _____)
- 協会登録ボランティア
- 一般参加者 (専業主婦 / 定年退職 / 自営業 / 会社員・その他 _____)

(公財)佐賀県国際交流協会の賛助会に入会すると、様々な特典があります。料理交流会に500円で参加できる他、ランチタイムセミナーの無料受講、各種語学講座の割引サービス、協会発行の国際交流・協力誌「HELLO SAGA」(年6回発行)送付等があります。賛助会員費(年会費)は2000円です。賛助会についてご不明な点がありましたら、お気軽にお問合せください。



☆お願い☆

イベント参加時の駐車場は[商エビル前]、中央通りの[唐人南パーキング]をご利用ください。無料駐車券をお渡します。公共交通機関をご利用になられる場合は、佐賀市営バス「白山」、「エスプラッツ前」、「呉服元町」を最寄りのバス停としてご利用下さい。